



下関市・北九州市 関門新連携へ

5月30日、北九州市の関門海峡ミュージアムで、12年ぶり14回目となる両市長会談が行われました。会談では、「関門新連携」のスローガンの下、連携をより強化していくことを確認。「関門海峡光の架け橋メガトリップエリア構築事業」や「関門橋開通50周年記念イベントの共同開催」など、観光や交流の活性化に向けた取り組みについて、活発な意見交換が行われました。

前田市長は、「民間の力を借りながら、関門のエネルギーをさらに高めていきたい」と語りました。



「やまぐちローカル線 応援団」創設

県内ローカル線の利用促進を図るため、5月24日、県が「やまぐちローカル線応援団」を創設しました。山陰本線を含む県内ローカル線の維持・活性化に向けて取り組む意欲のある事業所や個人などを対象に「団員」として登録。

団員は、ローカル線に乗車して、駅舎、車窓からの風景や沿線名所、名店などの魅力をSNSで情報発信するなど鉄道の利用促進に向けた取り組みに協力・参画していきます。

詳しくは県HPから。



親子ふれあい広場 イベント「MiNNaDe」

5月19日、市役所内の「親子ふれあい広場」で、皆さんに知っていただくために、子育てふれあいフェスタ「MiNNaDe」が行われました。広場は子育て親子の交流や悩み相談を受けるなど、子どもの健やかな育ちを支援しています。市役所で手続き中の見守りも行っています。当日はたくさんの親子連れが訪れ、木のボールプールやパネルシアター、ハイハイレースを楽しみ、個別相談も行われました。「工夫されたおもちゃは大人も楽しかった」「絵本のリユースがありがたかった」との声がありました。



くじら産業DVD完成

下関くじら食文化を守る会が、捕鯨船の修繕や鯨肉加工などの鯨関連産業に焦点を当てた、中学生向け啓発DVD「くじら産業の街下関」を制作。このDVDは、市内の中学校、中央図書館などに寄贈されています。

DVDを監修した市立大学岸本特命教授は「産業という新しい切り口でくじらの街・下関を知っていただければうれしいです。撮影にご協力いただいた方のくじらに対する熱い思いは、短く編集するのに苦労したほどです」と話してくれました。